



平成 22 年 2 月 2 日

各 位

会社名 日揮株式会社
代表者名 代表取締役会長 竹内 敬介
(コード番号 1963 東証第一部)
問合せ先 広報・IR 部長 水野 秀行
(TEL 045-682-8026)

米国油ガス田開発・生産事業に係る損失ならびに通期の業績修正について

平成 22 年 3 月期第 3 四半期（平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）において、当社 100%子会社である JGC Energy Development (USA) Inc.（本社 テキサス州 ヒューストン）が操業中のルイジアナ州リトルレイク油ガス田開発・生産事業において、下記の通り損失処理を実施する予定です。

また、併せて通期業績見通しを下記の通り修正します。

記

1. 状況

当社の米国子会社である JGC Energy Development (USA) Inc.は 2006 年 8 月にルイジアナ州リトルレイク油ガス田を含む鉱区の権益の 50%を取得し、引き続き 2007 年 8 月には残りの 50%の権益を追加取得し、100%自社保有鉱区のオペレーターとして、油ガス田開発・生産事業を実施中です。

しかしながら、新規掘削による追加埋蔵量の確保が当初の想定を大幅に下回ったため、同社は 2009 年度決算において損失を計上する見込みとなりました。その結果を受けて当社の総投融資額の内、回収困難であると見込まれる額を平成 22 年 3 月期第 3 四半期において、以下の通り損失計上する予定です。

なお、既に商業生産中の原油および天然ガスについては、引き続き生産・販売を継続する予定です。

2. 損失の計上

(1) 個別決算

JGC Energy Development (USA) Inc.に対する当社の総投融資額（134 百万ドル 概算 133 億円）の内、回収不能見積り額につき、「関係会社株式評価損」として 63 億 64 百万円の特別損失および貸付金に対する「貸倒引当金繰入額」として 19 億 36 百万円の営業外費用を計上する予定です。

(2) 連結決算

JGC Energy Development (USA) Inc.を平成22年3月期第3四半期より重要性が高まったことにより新規連結を行い、49億68百万円を損失（内、「減損損失」38億67百万円）として計上する予定です。なお、同社の昨年度までの累計損失額35億46百万円は連結貸借対照表の「純資産の部」の期首剰余金を直接減額することになります。

3. 平成22年3月期通期の業績修正について

(1) 平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	450,000	35,500	34,000	21,500	85.05
今回発表予想(B)	430,000	40,000	39,000	24,500	96.92
増減額(B-A)	-20,000	4,500	5,000	3,000	
増減率(%)	-4.4%	12.7%	14.7%	14.0%	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	450,911	52,003	49,388	31,543	124.76

(2) 平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	350,000	27,000	30,000	21,000	83.07
今回発表予想(B)	330,000	32,000	34,500	21,000	83.07
増減額(B-A)	-20,000	5,000	4,500	—	
増減率(%)	-5.7%	18.5%	15.0%	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	349,924	41,356	44,176	30,213	119.50

修正の理由

(連結業績予想修正の理由)

上記の米国子会社を新規連結したことにより損失が発生しましたが、プロジェクトの円滑な遂行、一部の持分法適用会社の利益の増加、税率の見直しによる法人税等の減少により、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回（平成21年11月5日）発表より増加致しました。

(個別業績予想修正の理由)

米国子会社に対する損失を計上したものの、プロジェクトの円滑な遂行、受取配当金の増加、税率の見直しによる法人税等の減少により利益向上が図られる見通しのため、当期純利益は前回（平成21年11月5日）発表と変更はありません。

以上